

短期大学部 助教  
博士（芸術学） 原久美子

令和3年1月23日（土）に開催された「臨床心理士・公認心理師試験対策授業」をZoomで見学して参考になったこと、感じたことを以下に述べる。

まず第一に、今回は論述問題対策とのことで、論述問題の解答例が挙げられていた点が非常に効果的だったように思う。学生は解答例を見ながら論述対策の学習することで、論述の際の重要なポイントや論述問題の文章の構成を理解することができる。漠然と例題に取り組みせるのではなく、解答例を参考にしながら構成のポイントを学習させることが学生の論述問題攻略の近道であるように感じた。

その他にも、授業の終盤で実際に論述例題に取り組みさせた際、解答の残り時間をこまめにチャットで通知するなど、学生が時間配分を考えやすくする工夫がみられた点が参考になった。

「論述問題」は「数的推理」等機械的に学習できる分野とは異なり、一見本学の教育メソッドでは適用が難しい授業のようにも感じる。しかし、総長先生が繰り返しお話しされていたように「論述問題は簡単にできる」ことを学生に伝えることで、学生の自信につながることを学んだ。また、総長先生の提唱された本学の教育方針（「できなかった子（生徒）をできる子（学生）にする」）を実行するためには、教員が「はっきり」、「コンパクト」に話し、「無駄な説明をしないこと」で授業の学習効率が一層上がることと確信した。

以上、授業見学を通して参考になったこと、感じたことを述べた。筆者は公務員試験対策講座を担当していないが、今回の授業見学を通し、改めて本学の教育メソッド、およびその効果を確認することができた。一方で、本授業での気づきの多くは既に数年前の入職以降の教員研修会や授業見学会で総長先生のご高話から学習したものであり、筆者自身の認識の中に本学の教員としての教育スタイルが定着しつつあるということにも気づいた。

授業見学で学んだことを今後の自身の担当授業に活かしていきたい。